

■ 比較民俗研究会の記録

・第86回（2008年5月26日）

山田昌久（首都大学東京人文学部教授）
「考古学からみた木の文化」

・第87回（2008年6月3日）

朝克金（中国社会科学院民族文学研究所副所長、研究員）湯晓青（中国社会科学院民族文学研究所副所長、研究員）莎日娜（中国社会科学院民族文学研究所副所長、助理研究員）
「中国民族学・民俗学の現状—民族学を中心に—」

・第88回（2008年6月30日）

曾士才（法政大学国際文化学部教授）
「西南中国のエスニック・ツーリズム」

・第89回（2008年7月14日）

謝荔（法政大学社会学部准教授）
「祖先となる靈魂、転生する靈魂—四川地域のフィールドワークから—」

・第90回（2008年10月20日）

小熊誠（沖縄国際大学総合文化学部教授）
「沖縄における門中再考—歴史と比較の視点から—」

・第91回（2008年11月30日）

法橋量（慶應義塾大学非常勤講師）
「現代ドイツ民俗学とく語り—アルブレヒト・レーマンの試みを通して」

・第92回（2008年12月26日）

小馬徹（神奈川大学人間科学部教授）
「相撲神大蔵鬼太夫永季の神話と歴史—相撲の節会と新興地方豪族「富豪の者」—」

・第93回（2009年1月26日）

川上新二（駒沢大学非常勤講師）
「韓国珍島の巫俗について—民俗宗教研究の視点から—」

・第94回（2009年2月28日）

額日徳木^{ユリドモト}（中国北京中央民族大学教授、現東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所外国人共同研究員）
「中国新疆ウイグル自治区伊犁地区オーロド部族の読経・転写・経文を招く習俗」